

## BPW製ECO軸アクスルナットは1～15度戻しが必要です。

### 【アクスルナット】

ECO軸(ECO-MAXX軸)は下記写真の様にロックピンで固定するため穴があります。



### 【ハブキャップ】

ECO軸のハブキャップにはECOと表記されておりECOPlus軸と識別可能です。



※トレクスでは、10トン20インチドラム軸等に採用されており多くの車両に取付けられております。

上記写真のBPW製ECO軸のアクスルナットは、**150Nmの締め付け後、必ず1度～15度戻してロックピンで固定して下さい。**

### 【アクスルナットの戻しの手順】

(作業開始前に整備要領書を必ず一読下さい。)

1. タイヤを締め付け方向と反対に回しながらトルクレンチを使い150Nmでアクスルナットを締め込む。
2. **必ず1度～15度戻して**、ロックピンで固定する。

#### 注意！

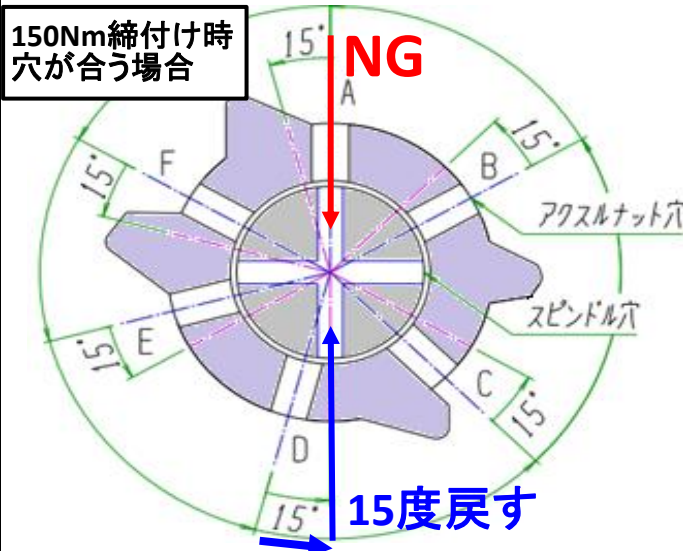
- ・150Nm締め付け状態では、締め付け力が過剰になりベアリング焼付きの原因になります。  
→**戻し忘れにご注意下さい。**
- ・1度以上15度以下戻して下さい。  
→**戻し過ぎにご注意下さい。**

### タイヤを回しながら



**150Nmで締め付け後必ず1度～15度戻しロックピンで固定する。**

150Nm締め付け時穴が合う場合



★ 150Nm締め付け後、左イラストの様に穴位置が合っている(A位置)場合は、反時計回りにアクスルナットを15度回転させ、D位置でロックピンを固定して下さい。

★ アクスルナット穴の間隔が不均等なため、**最大15度戻すと穴位置が合う**様に設計されています。

※12.5トン軸(ハブキャップにECOの表記無)はナット穴の間隔が均等なため、本ニュースの戻し角度とは異なりますので注意して下さい。

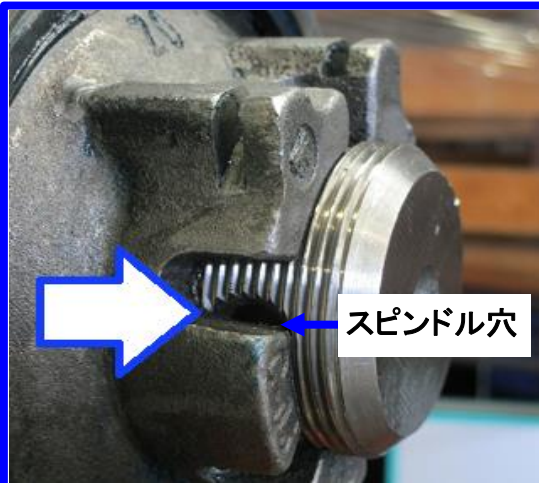
## 15度以内の穴の探し方

150Nmで締め付けで、穴位置が合った場合



この穴を使用せずに反時計回りで一番近い穴を使用します。

**この穴は使用禁止**  
(穴位置が合う所はNG)



★残り5個のナット穴から左写真の様な穴を探して下さい。

★一番近い穴はナット穴からスピンドル穴が見えています。

★反時計回り方向に必ず1個見える穴があります。

150Nmで締め付けで、穴位置が少し行き過ぎた場合

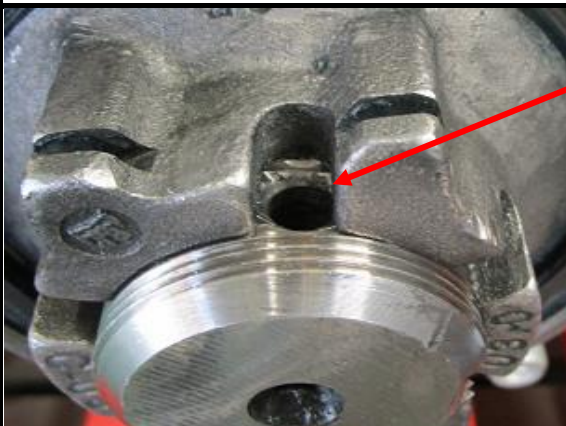


1度以上15度以内でアクスルナットを反時計回りに戻すと穴が合うので、この穴を使用します。

**アクスルナットを少しだけ戻し**  
この穴を使用する。

**注意:** 左写真の場合、他の穴を使用すると戻し角度が15度を超過してしまう。

150Nmで締め付けで、少し角度が足りない場合



**この穴は使用禁止**

**注意:** この穴は絶対使用しないこと。

残り5個のナット穴から反時計回りにスピンドル穴に近い所を探す。

1度以上15度以内戻しで合う穴が必ずあります。

3. ロックピンスプリングでロックピンを確実に止める。



ロックピンスプリング

4. パール等でガタつきをチェックする。  
少しでもガタつきがある場合は、分解点検する。  
ガタつきが治らない場合は、車軸Assyを交換する。

上記要領を参考に、適切な戻し角度にて、確実にアクスルナットを戻して下さい。

その他の整備要領も合わせて、  
トレクスホームページに整備要領書を公開しております。  
BPW車軸の整備を行う前には、必ず整備要領書を一読下さい。

「日本トレクス」で検索 → 「サービス情報」 → 「整備マニュアルダウンロード」  
→ 「BPW ECO軸整備要領」を参照下さい。

スマートフォンからでも整備要領書を閲覧が可能です。  
下記の二次元コードを読み取りリンクを開いて下さい。



URL [http://www.trex.co.jp/surviser/repair\\_manual/index.html](http://www.trex.co.jp/surviser/repair_manual/index.html)

本紙に関するご質問等は日本トレクス株式会社サービス部まで。(TEL:050-3367-7494 FAX:0533-78-3137)

日本トレクス株式会社 サービス部	承認	審査	担当
	